

局地的豪雨時の報道体制について

東松山ケーブルテレビ株式会社

東松山ケーブルテレビについて



～サービスエリア～
埼玉県東松山市
埼玉県比企郡滑川町
埼玉県比企郡嵐山町

～社員構成～

社長
局長
営業課 5名
制作編成課 3名
総務課 2名(パート1名)
技術通信課 2名

大雨当日の取材の動き

午前中

特別な気象警戒の予報なし

夕方

異常な雨の降り方を体感

17時58分

気象庁より東松山市に記録的短時間大雨警報

18時ごろ

出社している社員で取材班・メンテ班を作成

19時～23時

自社Twitterで大雨に関する情報を発信

報道方法

取材人員数・速報性の観点からTwitterで情報発信



ツイート数 : 18

映像の平均視聴数 : 1万~2万件

最多の視聴数 : 9.6万件

取材体制について

取材班の撮影機器

- ・iPhone 1台
※1080p／フレームレート30fpsで撮影
 - ・ハンディカム 1台(バックアップ機材として)
 - ・ハンディライト
 - ・スマホ充電バッテリー
 - ・テザリング用端末(ガラケー、iPad)
- (その他)長靴・カッパ

取材体制・取材内容

- ・二人一組で車移動(ドライバー／撮影投稿者)
- ・増水した河川、用水路の様子
- ・冠水している道路の様子
- ・警察による通行止めの様子
- ・大雨時の運転の危険性を伝えるもの
(対向車からの水しぶきによる視界不良など)

Twitter報道の内容



- **正確な撮影場所の表記**
⇒ 周辺住民への情報提供
- **撮影日時の表記**
⇒ 災害時の状況変化が速いため
- **客観的な状況説明/注意喚起のメッセージ**
⇒ 自社の公共性の担保
- **ハッシュタグで「地域名」「大雨」などを必ず入れる**
⇒ 検索ヒット数を上げるため

Twitter報道の反響

フォロワー数の増加
↑ 約250フォロー

投稿動画の平均視聴数
約1万

民放局から映像提供依頼

地域住民からの声

「帰宅時の道路状況把握に役立った」

「自宅付近の冠水状況の把握に役立った」

「夜間で状況を把握することが難しかったので
貴重な情報になった」

「自分のお店の近くの冠水状況がわかってよかった」

「地元ケーブルテレビ局だからこそできる報道力」

「コミュニティチャンネルでも情報を伝えるべきではないか」

民放局への映像提供

映像提供番組

テレビ朝日

- 7/12 報道ステーション(映像)
- 7/13 グッド! モーニング(映像)
- 7/13 羽鳥慎一モーニングショー(映像)
- 7/13 スーパーJチャンネル(映像)
- 7/13 Abemaニュース(映像)

テレビ東京

- 7/13 昼サテ(映像)

TBS

- 7/12 NEWS23(映像+電話インタビュー)
- 7/13 TBS NEWS(映像+電話インタビュー)
- 7/13 THE TIME(映像+電話インタビュー)
- 7/13 ひるおび(映像+電話インタビュー)

フジテレビ

- 7/13 めざましテレビ(映像)

日本テレビ

- 7/13 NEWSゼロ(映像)

映像提供方法

- ・映像に関しては各社、Twitterよりダウンロード
- ・日本テレビ、テレビ東京はWEBのファイルアップロードサービスを経由して提供
- ・映像二次使用の条件は「無加工」「社名クレジット表記」

今回の報道による成果と今後の課題

成果

- ・災害報道実施の認知度、
地元メディアとしての信頼度アップ
- ・Twitterのフォロワー数の大幅な増加
- ・自社独自の災害報道マニュアルの作成
⇒制作以外の社員への【災害報道】の意識づけ
- ・2022年7月12日以降の災害報道実施
⇒マニュアルを作ったことで
社員の動きがスムーズに

課題

- ・コミチャンにおけるリアルタイム災害報道の
社内体制作り
- ・災害発生時の報道体制確立の不安定さ
- ・災害報道終了のタイミング

ご清聴ありがとうございました